

Green Spirits



きな国際会議で
した。
この国際会議
は、川邊先生と
韓国・忠北大学
教授・韓国経営

川邊新学長の
お人柄を少しで
もお伝えすべ
く、同じ経営史
領域を研究して
いる者として一
面をご紹介した
と思います。
とにかく「国
際派」であるこ
とは誰もが有感
じになっている
点かと思いま
す。
おふたりが同じ恩師の元
で学んだという縁をとて
も大事にされていることに
驚かされました。金教授が
最初の日本留学世代であ
り、その後日本で学んだ
たぐさんの経営史研究者
が現在、韓国の大学で教
鞭につかれていることも
知りました。それらの方
が同窓会のようにして大
勢国際会議に参加して
くださり、我々を歓待して
くださったのです。

折角、同じ大学で
ご一緒するご縁をい
ただいたので、少し
でも「国際派」の先
生に近づくために、
この5月に川邊先生
が日本側の窓口をさ
れている日韓経営史
会議に参加し発表し
てきました。

日本と韓国の経営
史学会が共催して年
に一度、両国で交互
に開催して今年で5
回目。今年は5月12
日〜14日に韓国ソウ
ルで開催されまし
た。

国際会議は「企業
者の思想」をテーマ
として日本側から10
数名の研究者が参加
しました。会場はソ
ウルの中心街にある
大韓商工会議所の国
際会議場をメイン会
場とし、分科会は7
会場に分かれての私
の予想をはるかに超えた大

日韓経営史会議に参加して 島田昌和 副理事長／経営学部教授

私は自分の長らく研究
している渋沢栄一につい
ての発表をさせてもらい
ました。それも最初の全
体セッションの日本の代
表となっていました。渋
沢は韓国ではじめて紙幣
を発行したこともあり、
古い世代には侵略者のイ
メージも残っているそう
です。「もう新しい日韓
関係の時代なのだから」
ということ起用してく
ださったそうです。
どれだけその期待に応
えられたかは判りませ
んが、川邊先生のご縁で新
しいつながりを持ってたこ
とは実にありがたい機会
でありました。